

活動事例

共同研究

行方市三味塚古墳から出土した、
金属・埴輪の形状及び構造の分析

支援先

茨城県立歴史館

【内 容】

茨城県立歴史館とともに、三味塚古墳から出土した金属製品及び埴輪の構造測定を実施いたしました。三味塚古墳は前方後円墳で、行方市玉造町沖洲の沖積地に存在しております。今回の測定では茨城県指定文化財である「平縁変形四神四獣鏡」等についてX線CTによる測定を、「人物埴輪 力士」等について三次元デジタルサイザによる形状測定を実施いたしました。その結果、目視での観察では発見できなかった補修の跡やひび割れについて確認することができました。

今回の成果については、平成 28 年 10 月 8 日～11 月 23 日に歴史館で実施された特別展にも展示されました。

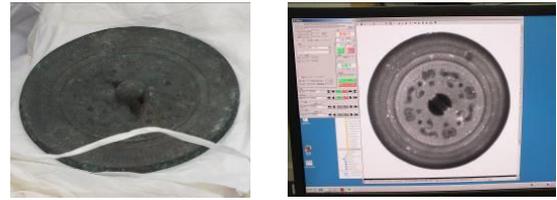


図 1 X線 CT による測定
(左：測定対象 右：測定画面)



図 2 特別展の展示

基礎となった事業

平成 28 年度 オンリーワン技術開発支援事業（共同研究）

現在の担当部門

技術融合部門	部 門 長	大高 理秀	TEL:029-293-7482
	主 任	山下 宏	
先端材料部門	部 門 長	浅野 俊之	TEL:029-293-7492
	主 任	早乙女秀丸	

活動事例

産業界支援

茨城・栃木県結城紬研究試作品
合同展示会の開催

支援先

結城紬産地

【内 容】

11 月 12 日～13 日の紬ウィーク（本場結城紬振興事業実行委員会主催）期間中、結城市民情報センター3 階において結城紬に関する研究紹介及び研究試作品、研修生作品等 22 点を紹介する展示会を当センターと栃木県産業技術センター紬織物技術支援センターとの合同で開催しました。

茨城県人気投票第 1 位の「100 亀甲帯状亀模様」は設計図案を合わせて展示することで、実物の着物と見比べて模様を探すなど、興味深く見学していただきました。栃木県人気投票第 1 位の「ネットロウシルク名古屋帯」は、よこ畝織で縞柄に変化をつけるなど今までにない作品で人気を得ました。その他「着心地や素材の良さ」をパネルで説明するなかで、一般消費者や着物を着る側の視点から意見を聞く貴重な場となりました。



図 1 展示会場の様子



図 2 茨城県人気投票第 1 位
(右は展示着物の設計図案)



図 3 栃木県人気投票第 1 位

基礎となった事業

平成 28 年度 試験研究指導費（成果発表）

現在の担当部門

紬技術部門	部 門 長	篠塚 雅子	TEL:0296-33-4154
	主任研究員	本庄 恵美	
	主任研究員	中野 睦子	